

F.T.Pile構法 施工チェックシート

工事名: _____

年月日(1)^{注1)}: _____ 年 _____ 月 _____ 日

実施者: _____

年月日(2)^{注1)}: _____ 年 _____ 月 _____ 日

実施者: _____

杭 No.	タイプ		外観確認 ^{注2)}	杭位置		杭頭レベル (mm)	心ずれ(mm) ^{注3)}		レベルコン打設前		レベルコン打設後						
	標準	引抜		X	Y		X	Y	FTキャップ設置状況 ^{注4)}		FTキャップ設置状況			引抜き抵抗用鋼棒		カプラー	
									天端 ^{注5)}	埋込み 深さ ^{注6)}	仮止め ボルト 撤去	天端 ^{注7)}	側面 ^{注7)}	埋込み長 Lc ^{注8)}	本数	取付 状況 ^{注9)}	端板からの 出の長さ ^{注10)}
1	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
2	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
3	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
4	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
5	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
6	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
7	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
8	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
9	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
10	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
11	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
12	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
13	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
14	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
15	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
16	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
17	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
18	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
19	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
20	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
21	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
22	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
23	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
24	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
25	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
26	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
27	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
28	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
29	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否
30	□	□	良・否						良・否	良・否	□	良・否	良・否	良・否		良・否	良・否

- 注1) 検査は、レベルコン打設の前・後で2回行う。検査年月日(1)はレベルコン打設前、(2)はレベルコン打設後
 注2) 外観確認は、右記の「外観確認項目」の確認を行う。
 注3) 杭の心ずれの許容誤差は、±100mmを基本とする。
 注4) FTキャップの仮止め位置及び数は、φ300～φ900までは対角2カ所以上、φ1000以上は対角4カ所以上とする。
 注5) 端板との間に小石や砂等の影響で浮き隙間が生じていないことを確認する。
 注6) FTキャップの最低埋込みラインが隠れているか目視で確認する。
 注7) FTキャップの側面(テーパ部)を軽打し、テーパ内側にレベルコンクリートが入り込んでないことを確認する。
 注8) 埋込み長の許容差は、50mm < Lc ≤ 150mmとする。
 注9) PC鋼棒の取付状況は、PC鋼棒を底面までねじ込んだ状態で鉛直方向にガタが無いことを確認する。
 注10) 端板からの出の長さが管理値以下であるか確認する。
 注11) 検査結果は、監理者へ速やかに報告する。

- 外観確認項目
 <FTキャップ>
 ・FTPの刻印が表示されているか確認する。
 ・変形や損傷がないことを確認する。
 ・最低埋込ラインが施されているか確認する。
 ・引抜き対応タイプの場合、必要本数分の穴が適切に配置されているか確認する。
 <引抜き抵抗用鋼棒・定着板> ※引抜き対応タイプの場合
 ・変形や損傷がないことを確認する。

